

まなびっく だより

NO.5 発行日 2024年6月



～センター事業の充実に向けた各種機関との連携強化～

一般社団法人 檜山地域人材開発センター運営協会

会長 田畑昌伸

新型コロナウイルス感染症が5類に移行後、ようやく制限のない通常の総会を開催することができました。この間、当センターでもコロナ禍後を念頭に積極的な事業展開を図ってまいりました。そのため、新規の職業講習として「石綿作業主任者技能講習」と「ドローン検定技能講習」を桧山管内ではじめて開催することができました。結果、昨年度講習実績では8講習10回を実施し、総人員で143名、延べ人員で278名の受講生が「まなびっく」で各種職業講習を受講したところであります。また、施設利用につきましても利用人員が7,011名と対前年比433名の増加となったところです。しかし、コロナ禍前の水準の8割ほどの回復であり、以前の実績に戻るにはもう少し時間が必要と感じているところであります。

老朽化したセンターの外壁改修工事ですが、一昨年の「正面外壁工事」に続いて昨年度は「西面外壁工事」を実施いたしました。江差町様のご理解で、計画的な施設改修工事を実施しているところです。さらに今年度は「北面外壁工事」を予定しております。

この場を借りて、江差町様のご理解ご支援に心より感謝を申し上げます。

さて、桧山管内では急速な人口減少と少子化により若者の管外流出が続いており、非常に厳しい環境状況となっております。しかし、人材育成事業の推進にとって「桧山地域人材開発センター」の果たす役割は益々重要な存在になっていると確信しております。そのため、会員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。さらに、今年度は、留萌地域人材開発センター、苫小牧職業訓練センター、林災防函館分会、桧山建設協会などと、より一層の連携強化に向けて事業を推進していきたいと考えております。

我々役員一同、桧山管内の人材育成事業推進に邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 通常総会が終了いたしました。

5月21日（金）午後2時から一般社団法人 檜山地域人材開発センター運営協会の令和6年度通常総会を当センター3階研修室にて開催いたしました。総会では、北海道議会議員 内田尊之様、桧山振興局地域産業担当部長の千葉真一郎様、江差町産業振興課長の畑竜哉様を来賓に迎え、委任状を含む70会員（本人出席20名）出席の中、5年度事業報告、決算、6年度事業計画、予算などが承認されました

役職名	再・新	氏 名	所 属
会 長	再任	田 畑 昌 伸	檜山地域人材開発センター会長 江差建設協会会長・(株)田畑建設 代表取締役
副 会 長	再任	林 勲	乙部建設協会 会長・(株)林組 代表取締役
副 会 長	再任	室 谷 元 男	檜山地方職業能力開発協会 会長
専務理事	再任	大 坂 敏 文	檜山地域人材開発センター 専務理事
理 事	再任	小 林 誠	檜山建設協会 会長・(株)小林建設 代表取締役
理 事	再任	工 藤 幸 博	ひやま漁業協同組合 代表理事組合長
理 事	再任	成 田 司	檜山地方技能士会 会長
理 事	新任	桜 井 明 雄	北海道檜山管内商工会連合会 会長
理 事	再任	能登谷 謙 一	厚沢部建設協会 会長・能登谷建設(株) 代表取締役
理 事	再任	瀧 澤 雅 敏	今金建設協会 会長・和工建設(株) 代表取締役
理 事	新任	田 中 義 人	乙部町商工会 会長
理 事	再任	高 野 忠	檜山渡島板金業組合 理事長
理 事	再任	辻 希 良	江差塗装組合理事長
理 事	再任	山 田 米 蔵	南北海道林業総合事業協同組合顧問
理 事	再任	伊 関 寿 之	せたな町建設協会 会長・(株)伊関組 代表取締役社長
理 事	再任	長谷川 俊 郎	(株)カイト 代表取締役
理 事	再任	若 狭 正 仁	上ノ国建設協会副会長・(株)若狭組 代表取締役社長
理 事	新任	松 塚 清 人	上ノ国建設業技能者協会会長・(株)光土建 代表取締役
監 事	再任	海老原 孝	奥尻建設協会 会長・(株)海老原建設 代表取締役
監 事	再任	三 上 修 吾	西野会計(株) 専務取締役

【役員名簿 任期:令和6年5月22日～令和8年次期通常総会まで】

【檜山地域人材開発センター事務局職員】

専務理事（センター長）	大坂 敏文	（統括）
総務課総務主任	細川 真紀	（総務経理全般担当）
研修課研修係	辻 将史	（研修全般担当）
研修課研修係	木村たみえ	（宿泊研修担当）

※開催して欲しい講習などセンター事業に関するご相談はお気軽にお電話下さい。【TEL0139-52-0160】

【令和5年度 松山地域人材開発センター「まなびっく」春季職業講習】



【フルハーネス型安全帯使用作業特別教育 4/19】
受講生 20 名



【石綿使用建築物解体業務特別教育 4/20】
受講生 26 名



【自由研磨砥石の取扱い業務特別教育 4/21 受講生 6 名】



【春季「刈払機取り扱い作業安全衛生教育」5/22 受講生 17 名】

令和5年度 「介護初任者研修」「介護福祉士実務者研修」



【介護初任者研修 開講初回5/13、スプリング 7/22-23 受講生 11名】



【介護福祉士実務者研修 介護課程Ⅲ7/20,21,23 9/8,9 医療的ケア 10/7,8 受講生 10名】

【令和5年度 松山地域人材開発センター「まなびっく」秋季職業講習】



【秋季 石綿作業主任者技能講習（9/15～16開催）受講生 渡島松山管内から 30名受講】



【秋季 ドローン検定基礎技能講習（10/2～4 開催）受講生 1名】



【クワトロ機取扱作業安全衛生教育】
10/12 受講生 11名】



【フルハーネス型安全帯使用作業特別教育】
10/31 受講生 7名】



【伐木（チェーンソー）業務従事者特別教育】11/15-17 受講生 7名】

◆令和5年度 人材開発センター施設改修

檜山地域人材開発センター西面外壁改修工事完了写真 (585㎡) (2年目)

◎発注者：江差町



令和5年度 檜山地域人材開発センター（まなびっく）施設の利用状況

職業訓練では、フルハーネス2回、刈払機取り扱い作業者の安全衛生教育2回、自由研磨砥石の取扱い等の業務特別教育、石綿使用建築物解体業務特別教育、チェンソーの特別教育、また、桧山で初めて開催しました「石綿作業主任者技能講習」、同じく「ドローン検定講習」、更に、介護職員初任者研修及び介護福祉士実務者研修と受講者が **150名**、前年比で **5名の増加** となっています。昨年受講者総数310名に対し、**304名** となりました。コロナ禍でも増加となった要因は、新聞記事掲載、積極的なチラシ配布、各町広報誌周知、HPでの周知、メールでの情報提供などの効果があったと分析しています。

令和5年度の施設利用総延人員は、**7,657名**（延べ人数）と前年比 **479名の増加（6.7%増）** となりました。

施設利用の内訳は、職業訓練、住民講座、施設貸与等のいわゆる管理棟利用が、**7,011名**で前年比 **433名の増加（6.5%増）** でしたが、一方、研修宿泊施設の利用については、**646名**（延べ人数）で前年比 **46名の増加（7.7%増）** となりました。新型コロナウイルス感染症拡大前の状況では、年間700名程度の利用がありましたので、まだまだ以前の利用状況に戻るには課題が大きいと考えております。

今後は、アフターコロナを見据えた事業に取り組み、情報発信の強化を図り、人材育成拠点施設としての使命に鑑み、一人でも多くの皆様が活用できるよう各種事業の推進を図ってまいります。

「まなびっく」と江差町、町指定避難所として利用協定を締結。

締結は、令和5年9月20日付。指定避難所として使われるのは建物1階～3階にある体育館や研修室など計14室で、最大411人の収容が可能です。また、建物隣の宿泊棟は高齢者や障害者などの要配慮者が使用し、最大45人を収容する予定です。締結式で照井誉之介町長は、「近年、江差でも災害が多発している。そんな中、まなびっくを避難所として利用できるようになることは心強い」と話していました。

また、田畑昌伸会長は、「地域住民の安心安全の暮らしを守るために、町と一致団結して災害に備えていきたい」と話していました。

協定により、江差町内の指定避難所は合計52カ所となりました。

(令和5年10月6日道北海道新聞記事より抜粋)

◆令和5年度収支計算書

(単位：円)

科目		予算額	決算額	増減	備考	
収入の部	会費収入	1,430,000	1,420,000	△10,000	正会員 71 団体、賛助会員 20 団体	
	事業収入	5,628,000	5,584,836	△43,164	職業訓練、住民講座	
	補助金収入	10,715,000	10,715,000	0	道補助金、市町村補助金	
	雑収入	177,000	173,371	△3,629		
	合計	17,950,000	17,893,207	△56,793		
支出の部	事業費	職員給与	2,450,000	2,415,620	△34,380	職員給与、諸手当
		福利厚生費	570,000	558,132	△11,868	社保、雇用、労災、中退共
		報償費	390,000	388,400	△1,600	講師謝金
		旅費	220,000	206,160	△13,840	会議旅費他
		需用費	3,710,000	3,665,524	△44,476	訓練講習等消耗品、光熱水費、修繕等
		役務費	300,000	343,119	43,119	電話、郵券、折込等
		手数料	350,000	266,966	△83,034	振込手数料等
		委託料	4,050,000	4,045,270	△4,730	設備保守委託等
		使用料及び賃借料	1,250,000	1,179,911	△70,089	パソコン入料他
		備品購入費	50,000	0	△50,000	
		負担金及び公課費	10,000	1,000	△9,000	会議負担金
		計	13,350,000	13,070,102	△279,898	
	管理費	職員給与	3,300,000	3,264,395	△35,605	職員給与、諸手当
福利厚生費		710,000	695,574	△14,426	社保、雇用、労災、中退共	
旅費		210,000	201,191	△8,809	会議旅費他	
交際費		63,000	62,400	△600	慶弔見舞金	
需用費		177,000	138,988	△38,012	事務消耗品、光熱水費等	
役務費		40,000	22,341	△17,659	電話、郵券等	
手数料		60,000	25,586	△34,416	折込手数料	
委託費		30,000	27,225	△2,775	設備保守委託	
使用料及び賃借料		70,000	59,448	△10,552	NHK 受信料等	
負担金及び賃借料		40,000	39,000	△1,000	北職能協年会費等	
計	4,700,000	4,536,148	△163,852			
合計		18,050,000	17,606,250	△443,750		
他会計への繰入金支出		300,000	250,000	△50,000	特別会計へ繰入金	
事業活動支出合計		18,350,000	17,856,250	△493,750		

令和6年度収支予算

(単位：円)

【センター2階.3階の会議室】

科目		予算額	対前年比	
収入の部	会費収入	1,390,000	△40,000	
	事業収入	6,300,000	70,000	
	補助金収入	10,715,000	0	
	受託収入	2,585,000	0	
	雑収入	110,000	70,000	
	合計	21,100,000	100,000	
支出の部	事業費	職員給与	2,497,000	6,000
		福利厚生費	584,000	25,000
		報償費	2,800,000	△50,000
		旅費	200,000	70,000
		需用費	3,259,000	△711,000
		役務費	550,000	0
		手数料	540,000	0
		委託料	4,320,000	270,000
		使用料及び賃借料	1,250,000	0
		備品購入費	50,000	0
		負担金及び公課費	10,000	0
		計	16,060,000	△390,000
	管理費	職員給与	3,361,000	23,000
		福利厚生費	720,000	28,000
		旅費	240,000	△20,000
		交際費	30,000	20,000
		需用費	209,000	△21,000
		役務費	40,000	0
		手数料	60,000	0
		委託費	30,000	0
使用料及び賃借料	70,000	0		
負担金及び賃借料	40,000	0		
計	4,800,000	30,000		
合計	20,860,000	△360,000		



《OA研修室 (パソコン11台)》



《視聴覚教室 (40名使用可)》



《研修室3 (20名使用可)》



《会議室1・2 (50~60名使用可)》



《研修室4 (20名使用可)》

会員の皆さんは使用料が半額となりますので、どうぞご利用をお待ちしています。

令和6年度 事業計画（職業訓練等）

1. 職業訓練

（特別教育、安全衛生教育、技能講習、ドローン講習、介護初任者研修、介護福祉士実務者研修等）

訓練名	実施時期	回数	日数	定員	教習所
【特別教育】チェーンソーによる伐木等の業務に係る補講	4/26	1	1	40名	林災防（春山先生）
【技能講習】玉掛け	4/24～26	1	3	10名	北海道労働基準協会連合会
【技能講習】フォークリフト運転技能	5/8～11	1	4	10名	北海道労働基準協会連合会
【技能講習】小型式移動クレーン運転	5/16-18	1	3	10名	北海道労働基準協会連合会
【特別教育】足場の組み立て等特別教育	5/14	1	1	20名	高田先生（留萌地域人材開発センター）
【特別教育】自由研磨砥石取り扱い業務	5/15	1	1	20名	高田先生（留萌地域人材開発センター）
【特別教育】石綿使用建築物等解体業務	5/16	1	1	20名	高田先生（留萌地域人材開発センター）
【特別教育】フルハーネス型安全帯使用作業	5/17 10月頃予定	1 1	1 1	20名 20名	高田先生（留萌地域人材開発センター）
【技能検定】ドローン講習	6/3～5 R7.3月予定	1 1	3 3	6名 6名	ドローン教習所新函館北斗校 （佐々木先生）
【特別教育】テールゲートリフター操作業務	6/21 11月頃予定	1 1	1 1	20名 20名	三谷先生（苫小牧）
【安全衛生教育】刈払機取扱作業安全衛生教育①(春季) ②(秋季)	6/11 10月頃予定	1 1	1 1	20名 20名	林災防（春山先生）
【特別教育】伐木(チェーンソー)業務従事者	11月頃予定	1	1	20名	林災防（春山先生）
【技能講習】石綿作業主任者講習	10月頃予定	1	1	40名	高田先生（留萌地域人材開発センター）
建築物石綿含有建材調査者講習	11月頃予定	1	2	40名	未定
介護初任者研修（高校・一般）	5月11日～ 7月23日	1	3	20名	日本福祉介護教育センター
介護福祉士実務者研修（一般）	7月21日～ 10月13日	1	7	20名	日本福祉介護教育センター
【技能講習】玉掛け技能	1月予定	1	3	10名	北海道労働基準協会連合会
【技能講習】フォークリフト運転技能	1月予定	1	4	10名	北海道労働基準協会連合会
【技能講習】小型式移動クレーン運転	1月予定	1	3	10名	北海道労働基準協会連合会
23 講習		23	50	452名	

檜山地域人材開発センターの施設利用案内

この施設は、檜山地域の住民なら誰でも自由に利用できる施設です。

【施設料金表（税込金額）】

※会員は半額での利用となります。

施設名	使用料（1時間）				暖房料 （1時間）	備 考
	一般		会員様			
	平日	夜間 土日休日	休日	夜間 土日休日		
会議室1	1,100	1,650	550	825	310	各20名程度
会議室2	1,100	1,650	550	825	310	会議室1・2通して 50名程度
研修室1	1,100	1,650	550	825	310	20名程度（和室）
研修室2	1,100	1,650	550	825	310	10名程度
研修室3	1,100	1,650	550	825	310	20名程度
研修室4	1,100	1,650	550	825	310	20名程度
研修室5	1,100	1,650	550	825	310	20名程度（和室）
土木実習室	1,650	2,200	825	1,100	470	
建築実習室	1,650	2,200	825	1,100	470	
食品実習室	1,650	2,200	825	1,100	470	ガスレンジ9台等
OA 研修室	1,650	2,200	825	1,100	470	パソコン11台
視聴覚教室	1,650	2,200	825	1,100	470	35名程度
体育館	1,100	1,650	550	825	790	
グラウンド	無料	無料	無料	無料		

（ご利用時間）

- ・平 日≪午前9時～午後5時≫・夜間≪午後5時～午後9時≫
- ・土日祝≪午前9時～午後9時≫

（備 考）

- ・(1)人材開発センター会員様は、一般料金より半額でご利用いただけます。（但し、暖房料は除く）
- (2)暖房料金は11月1日から翌年4月30日までの間で必要に応じてご請求させていただきます。
- (3)営利を目的とした施設のご利用については、一般料金の2倍の金額となります。

一般社団法人

檜山地域人材開発センター運営協会

〒043-0061 檜山郡江差町字南ヶ丘7-172

TEL 0139-52-0160 FAX 0139-52-0188

発行責任者 : 専務理事 大坂 敏文